

令和4年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年5月19日(木) 午後1時30分から3時30分まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議会委員A、運営協議会委員B、運営協議会委員C、運営協議会委員D、
運営協議会委員E

(2) 本校職員

校長、副校長、部主事、教務課長

4 内容

(1) 開会

ア) 学校長あいさつ

- ・特別支援学校の児童生徒数及び知的障害特別支援学校の児童生徒数の推移について
- ・特別支援教育について、多様な学びの場について
(資料 静岡県の教育及び静岡県の特別支援教育のリーフレット)

イ) 任命状伝達

ウ) 自己紹介(学校運営協議会委員、本校職員)

(2) 授業参観

(3) 協議

ア) 学校運営協議会についての確認と会長等の選出

- ・「開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換
- ・関係者が学校の目標やビジョン、課題を共有し、課題解決に向け、それぞれが主体的に取り組むための「協議の場」
(令和3年度確認事項について再確認)

会 長 運営協議会委員A

副会長 運営協議会委員B

地域コーディネーター 学校運営協議会委員C

イ) 学校概要及び学校経営計画について

①提案

学校概要は校長、学校経営計画は副校長、学部経営案は部主事が説明

②御意見や御質問(・)とそれに対する回答(⇒)

運営協議会委員C

・磐田北高校との交流の回数とそれぞれの生徒、教職員の意識はどうなっているか。
⇒磐田北高校の教職員には新任研修で、生徒には1年の学年集会で「分校について、共生・共育について」の説明をした。
校長会で生徒や教員を対象にしたアンケートを実施しており、生徒の方が違和感なく交流し、自己啓発につながっているとの結果を得ている。

・分校は3年間学級替えがないが、限られた人間関係になっていないか。
⇒1週間の授業30時間のうち、10時間は1年から3年までの縦割りの授業を行っている。3年生になると互いの様子が分かり受容し始める。

運営協議会委員B

・学部の目指す生徒像(イ)「最後までやり抜く気力と体力を身につけた高校生」が示されているが、具体的活動「自宅マラソン、チャレンジ・ザ・弁当の定着」と、どう関連

しているのか。

⇒弁当作りや家庭でのマラソンなど、課題として出したものは、最後までやる気持ちを育てている。チャレンジ・ザ・弁当は3年目であり取組率がアップしてきている。

- ・学校生活評価表の項目について、標準化したものを参考にしているのか。
- ・個別の連動性について。

⇒国の職業評価項目を参考にしている。

個別の指導計画とキャリアパスポートとのつながりを明確にしていきたい。

運営協議会委員D

- ・昨年度、地域交流センターまつりはコロナの関係でハンドベル部の演奏がなくなり、製品の展示のみになった。今年度はハンドベルの演奏を聞きたいので、検討してほしい。

⇒ハンドベル部が計画している。

- ・キャリアパスポートと企業の欲しい人材の関連はどうか。

⇒実習に行くと実習評価表をもらっている。評価表をもとに改善を考える材料にしている。

- ・卒業生との連携はあるのか。

⇒同窓会組織はあるが、会の開催がコロナで難しい。アフターケアで職場等へ出向いている。

運営協議会委員E

- ・自宅マラソンについて。冬休みには、コースを確認のため、母子で歩くことから始め、春休みには毎日できるようになった。

運営協議会委員A

- ・先生の負担が大きいことが気になる。19時以降の勤務5%以下と目標がある。また、新聞によると昼休みが取れていないとのことであるがいかか。

⇒4月は19時以降に勤務していた者もいたが、今月はいない。昼、数人はクラスで生徒と過ごしているが休憩時間はとれている。

- ・個別の教育支援計画の課題は。

⇒いかに効果的に使えるものにするか。関係機関とつながるためのツールになるとよい。

- ・地域とのかかわりで、17時以降留守番電話に切り替える場合、録音できるようにならないか。

⇒留守番電話は、3年ぐらい前から始まった。本校は17時30分、分校は設定していない。

緊急時は、保護者や教職員には防災携帯へ連絡するようになっている。

- ・卒業生の離職者は学校が把握している人数でよいか。

⇒はい

③学校経営の承認

参加者全員から承認をいただいた。

ウ) 地域と共に取り組めることについて

①地域への発信方法について

運営協議会委員C 以前は・中学校の学校だよりを交流センターへ依頼。地域の回覧板に入れていた。最近では学校のホームページに掲載している。

運営協議会委員D 市はペーパーレスを推進している。

校長 学校からの連絡は、情報共有サービス (COCOO) を導入している。

運営協議会委員C 見付の丘フェスタを行うにしてもどのくらいの時期から計画を行うの

- か。広報の仕方、駐車場の有無など考えることはたくさんある。
- 運営協議会委員A 地元の金融機関などをお願いしてPRさせてもらったらどうか。
- 運営協議会委員B 名刺の裏にQRコードを掲載し、学校ホームページにて製品の紹介が見られる等QRコードの活用と地元の金融機関、スーパーなど実店舗にて掲示等、広報する。
- 目的やターゲットによって手段を柔軟に変えてはどうか。
- 運営協議会委員A 銀行等のモニターを使って、見付の丘フェスタのお知らせやハンドベル部の演奏を映してもらえないか。企業の地域貢献の一つとして。
- 運営協議会委員C 生徒に〇枚持ち帰り、宣伝する方が回覧板よりかは来てくれる。
- 運営協議会委員B スーパーの掲示板に貼ってもらう。懸賞の近くがよく見てもらえる。

②地域の人と一緒にできる活動があるとよい。

- 運営協議会委員D 地域交流センターでボランティアを募集している。
- いわた大祭り（城山中で行う）の準備は夜に集まることもあるので、難しいと思う。
- 美化活動は休日であるので、学校としては難しいのではないか。
- 自転車マナー向上の声掛け運動もある。（5月20日、10月20日、1月20日）北高生徒も参加している。10月に一緒にできるとよいのではないか。

(4) 学校長あいさつ

たくさんの意見をいただきありがとうございました。

地域の方々、分校のあるところに幼稚園があったことは知っているが、分校のことは知られていない。今年度は、もっと知っていただくための行動を起こしたい。

コロナ等でできないとするのではなく、できるように考えていきたい。